MDA-MB-468□胞

300279

MDA-MB-468□胞株は、転移性腺癌の成人患者の胸水から得られた、よく確立されたヒト乳癌 □胞株である。これらの□胞は上皮形態を特徴とし、高度な異数性で知られている。MDA-MB-468□胞はエストロゲン受容体陰性（ER-）であり、エストロゲン受容体（ER）、プロゲステロン受容体（PR）、HER2/neuの発現を欠く乳癌のサブタイプであるトリプルネガティブ乳癌（TNBC）を研究するモデルとしてしばしば用いられる。このため MDA-MB-468は、ホルモン療法やHER2を標的とした治療に反応しないがんを研究するための重要なツールとなっている。

遺伝学的に、MDA-MB-468□胞はTP53遺伝子に変異を示す。TP53遺伝子は様々な癌によく見られ、□胞周期の調節とアポトーシスに重要な役割を果たしている。この □胞株はまた、上皮成長因子受容体（EGFR）遺伝子の増幅も示しており、EGFRシグナル伝達経路と、がんの進行や治療抵抗性におけるその意味を研究する上で有用である。研究者は、薬剤耐性のメカニズムを調べ、新しい治療薬を試験し、侵攻性乳癌の分子生物学を探求するために、 MDA-MB-468□胞を頻繁に利用している。

MDA-MB-468□胞は、その遺伝的・表現型的特徴に加えて、免疫不全マウスで異種移植片を形成する能力を持つことでも知られており、in vivoでの腫瘍増殖と転移の研究にとって貴重なモデルとなっている。この □胞株の様々な化学療法剤や標的治療薬に対する反応性は、 TNBCに対する効果的な治療戦略を開発するために広く研究されている。全体として、MDA-MB-468□胞株は乳癌研究、特にトリプルネガティブおよび EGFR陽性悪性腫瘍の研究を進める上で重要なリソースである。

概要

□明

MDA-MB-468□胞株は、転移性腺癌の成人患者の胸水から得られた、よく確立されたヒト乳癌 □胞株である。これらの□胞は上皮形態を特徴とし、高度な異数性で知られている。MDA-MB-468□胞はエストロゲン受容体陰性（ER-）であり、エストロゲン受容体（ER）、プロゲステロン受容体（PR）、HER2/neuの発現を欠く乳癌のサブタイプであるトリプルネガティブ乳癌（TNBC）を研究するモデルとしてしばしば用いられる。このため MDA-MB-468は、ホルモン療法やHER2を標的とした治療に反応しないがんを研究するための重要なツールとなっている。

遺伝学的に、MDA-MB-468□胞はTP53遺伝子に変異を示す。TP53遺伝子は様々な癌によく見られ、□胞周期の調節とアポトーシスに重要な役割を果たしている。この □胞株はまた、上皮成長因子受容体（EGFR）遺伝子の増幅も示しており、EGFRシグナル伝達経路と、がんの進行や治療抵抗性におけるその意味を研究する上で有用である。研究者は、薬剤耐性のメカニズムを調べ、新しい治療薬を試験し、侵攻性乳癌の分子生物学を探求するために、 MDA-MB-468□胞を頻繁に利用している。

MDA-MB-468□胞は、その遺伝的・表現型的特徴に加えて、免疫不全マウスで異種移植片を形成する能力を持つことでも知られており、in vivoでの腫瘍増殖と転移の研究にとって貴重なモデルとなっている。この □胞株の様々な化学療法剤や標的治療薬に対する反応性は、 TNBCに対する効果的な治療戦略を開発するために広く研究されている。全体として、MDA-MB-468□胞株は乳癌研究、特にトリプルネガティブおよび EGFR陽性悪性腫瘍の研究を進める上で重要なリソースである。

ティッシュ	乳房
病気	腺癌
転移部位	胸水

同義語

- MDA-MB 468
- MDA-MB468
- MDAMB468
- MDA-468
- MDA468
- MB468
- MD Anderson-Metastatic Breast-468

分類

生物	人間
セックス	女性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

特徴

形態学	上皮

識別子

引用

MDA-MB-468（Cytion カタログ番号 300279）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_0419

取り扱いと飼育

培地

DMEM:Ham's F12 (1:1)、w: 3.1 g/Lグルコース、w: 2.5 mM L-グルタミン、w: 15 mM HEPES、w: 0.5 mMピルビン酸ナトリウム、w: 1.2 g/L NaHCO3 (Cytion製品番号820400a)

培養雰囲気	37°C、5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した□胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3-5ml、T75フラスコでは5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコでは1-2ml、T75フラスコでは2.5mlのアキュターゼで□胞を完全に覆う。室温で8-10分間インキュベートし、□胞を剥離させる。インキュベーション後、□胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、300xgで3分間遠心する。上清を捨て、□胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

流体の更新	週2~3回

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、□胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	51年
民族	アフリカ人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB